

7月25日のウクライナ情報

安齋育郎

●NATO は現代の課題に対応できない贅沢品で古い同盟だ(「フォーリン・ポリシー」、2022年7月24日)

同誌は、冷戦時代にソ連と対峙する目的で設立された NATO は、もはや時代遅れであるとみている。また、NATO はパンデミックにも海賊対策にも対応していないのだから、この同盟を支持する者たちは、NATO がすべての問題の解決策であると宣伝するのではなく、プラン B を考えるべきだと述べている。

米政府は財源の制約に悩まされている。記事の筆者は、すでに8470億ドル(約115兆3400億円)に達した米国の防衛予算、ヨーロッパの安全保障に関する出来事で主導的な役割を果たそうとする試みは、米国にとってあまりにも高くつく」と指摘している。

●日本6月のロシア産原油輸入量がゼロ(貿易統計、2022年7月21日)

日本で、ロシア産原油の輸入が止まるのは2006年7月以来。5月に主要7カ国がロシア産原油の輸入を取りやめる方針で一致したが、日本は輸入禁止措置を導入していない。しかし、石油事業者が個々の判断で輸入を控えたとみられている。

日本の ENOS ホールディングスは5月、4月にロシア産原油の最後の荷受けをしたと発表した。

一方でロシアからの液化天然ガス(LNG)や石炭の輸入は続いており、6月のLNGの輸入額は前年同月の2.2倍の553億円で、輸入量は26.4%増の61万7000トンだった。石炭の輸入量は59.9%減になったものの、輸入額は65.3%増の389億円となった。また、魚介類の輸入量は14.6%増の1万4333トンで、輸入額は153億4700万円だった。

また、6月に日本からロシアに輸出したのは自動車とその部品などで、自動車の輸出量は23.4%減で輸出額は209億円。自動車の部品の輸出量は70.1%減で、輸出額は11億4600万円。この他にも、鉄鋼の輸出量は59.3%減となり、輸出額は2億9800万円だった。

●「中国とイランはロシアを明確に支持」(ナショナルインタレスト誌、2022年7月24日)

中国とイランはウクライナ情勢を巡り、ロシアを明確に支持している。ナショナルインタレスト誌のコラムニスト、マーク・エピスコポス氏が執筆した。

エピスコポス氏によれば、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領のイラン・テヘランへの訪問は、西側諸国にとって「邪魔な現象」となった。

エピスコポス氏は「非西欧世界の多くの国々は中立の立場を取るか、中国やイランの場合のように、ロシアのビジョンを明確に支持している」と述べた。

●ガス不足の場合、ドイツはウクライナの支援をやめる可能性(The Spectator、2022年7月24日)

アンナレーナ・ベアボック独外相は、ドイツがガス不足に直面した場合、ウクライナへの支援をやめることを否定しなかった。英国 The Spectator 誌が報じた。

同誌によれば、ベアボック氏は、カナダにパイプライン「ノルド・ストリーム」のタービンをロシアに返却するよう要請したとき、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領に手伝った。

同誌のコラムニストは「アンナレーナ・ベアボック外相のチームは、ドイツがガスを受け取らず、大きな社会不安に直面し、ウクライナを支援することができなくなるため、カナダにタービンをロシアに戻すよう説得しようとした。同氏はこれを記者団に確認した」と書いている。

またコラムニストは、ドイツ当局は、差し迫ったエネルギー危機によるパニックを隠すことができないと強調し、「ドイツはまだ明らかに神経質になっている。冬を乗り切るのに十分なガスがあるかどうかは不明だ」と語った。

7月20日、ロシア国営企業「ガस्पロム」は、ガス・タービンの返却に関する文書をシーメンスからまだ受け取っていないことを明らかにした。このタービンがロシアに返却されていなかったことにより「ノルド・ストリーム」の稼働率は最大時の30%にまで引き下げられていた。

●ギリシャ元エネルギー大臣、ポスターに「ロシアは正しい」(2022年7月22日)

ギリシャの元エネルギー大臣で、左翼の「人民統一」党の元指導者であるパナヨティス・ラファザニス氏は、選挙ポスターに「ロシアは正しい」というフレーズを載せたと、Pronews.gr が報じた。

報道によると、ポスターには「ロシアは正しい。米国と NATO はウクライナで地獄を起こした」と書いてある。ポスターはラファザニス氏の新しい党を促進するためのものである。フレーズに加えて、ポスターにはラファザニス氏自身とロシア軍のトレードマーク「Z」の文字が描かれている。同氏は「腐敗した、寡頭的な奴隷の政治体制を捨てる」ように呼びかけている。



●イラン 政府の対外政策(2022年7月23日)

戦略的な協力という点では、イランとロシア の戦略的な関係も見逃せません。この両国は、特にアメリカ から受けている制裁や、対イラン核合意問題のほか、一極主義への反対などに関して共通の見解をもっており、そしてこれにより、両国の協力関係が成立しています。



●アゾフ隊員名簿がアゾフスタルの地下で発見された(2022年7月24日)



※安齋注:ロシアが「特別軍事作戦」を行なった理由の一つは「ウクライナの非ナチ化」です。アゾフ連隊は出自がマリウポリで組織された極右民族主義者系の民兵組織ですが、その後のアゾフ連隊の隊員は全部が全部ネオナチではなく、ネオナチが占める割合は20%以下程度とも伝えられます。アゾフの隊員は、アゾフスターリ製鉄所の戦いで2000人余が降伏し、ロシア軍の捕虜となって軍事裁判を待っているようですが、ウクライナ社会には「隠れアゾフ」の残党がいるでしょうし、幼少の子どもに対する教育にも取り組んでいたため、ウクライナ社会の「非ナチ化」は戦後のウクライナ自身の重大な課題でしょう。立派な名簿まで作って組織を管理していたようですから、これはかなり有力な「非ナチ化」対セクの資料になるでしょう。

●英雄カディロフの弁、「ウクライナ人よ目を覚ませ！」

「ウクライナ人よジャンキーなゼレンスキーの嘘のために何人死なすつもりだ!？」
彼によると西側はロシアに特別作戦から本格的な戦争に切り替えさせようとしているのだという。
ヨーロッパ人、ウクライナ人、目を覚ませ！



※安齋注:カディロフ首長はプーチン大統領に対してかなりの忠誠心を寄せている人物です。もともと「チェチェン共和国の首長」は「チェチェン共和国大統領」という肩書でした。カディロフ氏は就任当時「チェチェン共和国第3代大統領」でした。ですが、就任後3年ほど経った頃、「国に大統領は一人だけでいい」と主張し始めます。つまり、「ロシア内で大統領を名乗る事ができるのは、プーチン大統領だけだ」という主張です。そして自身の役職を「首長」と変え、自身がプーチン大統領の配下であることをアピールします。プーチン大統領側もカディロフ首長を重用しているらしく、「ロシア連邦英雄」というロシアで最高の称号を彼に授与しています。このようにプーチン大統領と強い主従関係で結ばれたカディロフ首長は、今回のウクライナ侵攻についても全面的に支持をしており、ウクライナへの軍隊の派遣も行っています。(出典:<https://break-place.net/dokusai/>)

彼がゼレンスキーを評して言っている「ジャンキー」(junkie)は「何かに熱中している人」「病みつきになっている人」を意味し、しばしば「麻薬常習者」の意味にも使われます。

●ロシア・トルコ・イラン会談(WION ニュース、2022年7月23日)

<https://www.youtube.com/watch?v=iv9pLV-LDLg>

※安齋注:これは、2022/07/20 に放映されたインドの多国籍ニュースである WION からの「ロシア・イラン・トルコの3か国首脳会談」のニュースです。ウクライナ問題、核問題、アメリカの制裁の問題、テロ対策の問題、食料輸出やエネルギー問題など、それぞれの問題についての3か国の立場についての認識を共有しつつ、「固まった同盟関係」ではないにしても、現段階での可能な共同の道を探ったのかもしれない。

●西側武器供与への警告(2022年7月22日)

ロシアのラブロフ外相はハンガリーのシーヤールトー外務貿易大臣との会談を総括した記者会見で、ロシアはウクライナにおける特殊軍事作戦の対象地域を拡大する可能性を示し、これにより、欧米諸国がウクライナへの武器供給がいかに危険かを理解することを望むと語った。

「西側諸国が、ウクライナに近代兵器を持ち込むことの非生産性と危険性を理解し、ウクライナ政権の自国民への武力攻撃という非常識な事態を助長しないよう望む」

ラブロフ外相は、現時点ではロシアはまだ、EU、米国、欧州のほぼ大半の諸国は偏向的立場が支配的だと考えていると補足した。

●黒海港湾からの穀物輸出再開で合意(2022年7月23日)

①ウクライナ産穀物の黒海の海上輸送はオデッサ、チェルノモルスク、ユーヅヌィの3つの港から行われる。

②ウクライナ水域に仕掛けられた機雷撤去は、あまりに長い時間を要するため、行われない。

③穀物輸送船は同意に基づいた安全な回廊を通じて黒海を出る。

④船はウクライナの水先案内人が随行する。

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1550656262614188032?s=20&t=XttRWgnvvK22qUV90l4Pg>

●フランス銀行家の対ロ制裁の味方(2022年7月24日)

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1551161528594071553?s=20&t=6hXNsD7SegbsdQR80HnbLw>

フランスの銀行家フィリップ・ヴィランは Le Figaro 紙のインタビューで、「ヨーロッパの政治家が反ロシア制裁を推進することによって西側諸国を破滅に追い込んでいる」と述べた。

欧州中央銀行が EU のインフレは財政・金融政策の引き締め不足による過熱が原因だと言っているが、そうではない見方を提示した形だ。



●セヴェロドネツクの女性がウクライナ軍の行状を語る(2022年4月24日)

昔は「どうして私がウクライナに反対できるの?」と思ったが、ウクライナ軍の行動を目の当たりにした今は違う。

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1551152237552222209?s=20&t=6hXNsD7SegbsdQR80HnbLw>

●2014年以来に戦いから解放された住民の声(2022年7月25日)

<https://youtu.be/9wIKJzoCl4U>

●ウクライナ軍はロシアだけでなく市民居住地にも砲撃(2022年7月25日)

<https://youtu.be/AimYIESiuPs>

●ウクライナ経由のロシアのパイプラインから余剰ガスを抜き取ろう(2022年)

ウクライナ元議長、「パイプラインの中継国として、ロシアのガス余剰分は没収して、我々の貯蔵庫に入れるべきだ」。

※安齋注:ドロボーっていうんじゃないの、こういう行為は?汚職・収賄・着服・横領・横流しなどが常態化して、腐敗度ランキングが下位のウクライナでは常識的発想なのかな。

22 Jul 2022 08:11 | Home | Russia, EU, FSU

Ukraine should 'confiscate' Russian gas – politician

Kiev must seize gas from the pipeline that connects Russia with Western Europe, former parliament speaker says



Ukraine should "confiscate" Russian gas from transit pipelines, Dmitry Razumkov, the former speaker of the Verkhovna Rada, the country's parliament, has argued.

Russia transports some of its gas to Western Europe using a route, created during the Soviet-era, through Ukraine.

Razumkov, who was Rada speaker between 2019 and 2021, said the state of the Ukrainian economy is "close to a catastrophe."

"As a transit country, we must fulfill obligations to our international partners. But surplus Russian gas should be confiscated in accordance with the law and pumped into our storages," Razumkov wrote in a column for the Ukrainska Pravda newspaper on Wednesday.

FILE PHOTO: A gas pumping facility, 2022. © Ina Fassbenber / AFP